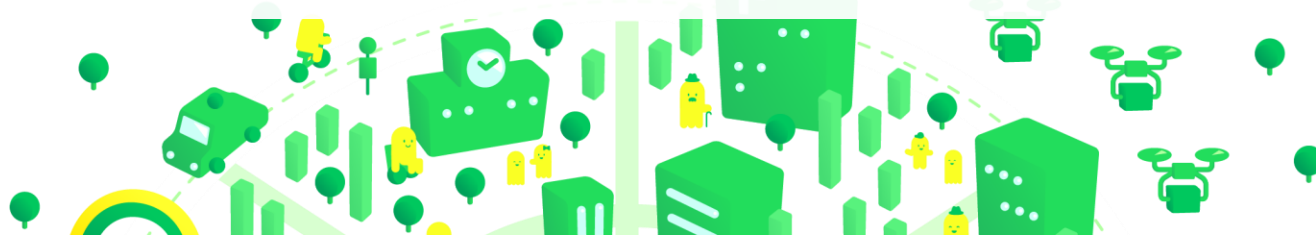


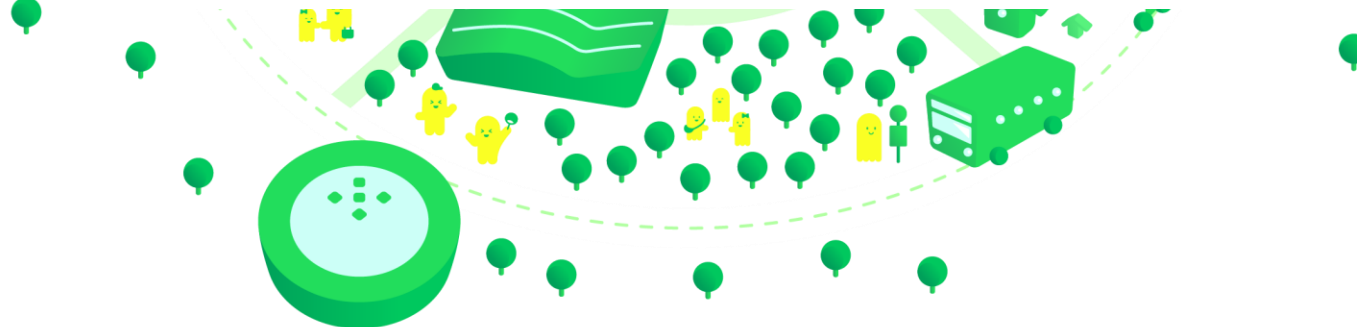
令和4年度 モビリティコンソーシアム モビリティ利活用PT



開始までお待ちください。

■ Zoomの設定のお願い

- カメラオン
- お名前:「会社名__お名前」



オンライン会議

オンラインで進めるにあたり、以下について設定をお願いいたします

- 名前の表示
 - 「貴社（団体）名 お名前」としてください。（例：千葉市 鈴木）
- 会議中のカメラは常時オン、マイクは発言時のみオンとしてください。
- 発言は自由となります。適宜ご発言をお願いいたします。
 - 『チャット』や『手を挙げる』機能を活用いただいても構いません。
- 録音・録画、画面の撮影は厳禁でお願いいたします。
 - 発表資料に非公開情報が含まれます。



令和4年度 モビリティコンソーシアム モビリティ利活用PT



第4回2023年2月10日

PT全体の予定

全4回を通じて、施策の実現にむけ、施策の具体化、実行を進めます

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
マイルストーン			WG #1	PT #1	PT #2	WG #2			PT #3		PT #4	WG #3

第1回	第2回	第3回	第4回
<p>今年度の取組の方向性決め</p>	<p>施策の課題検討 / MaaSも絡めた施策アイデア出し</p>	<p>具体化施策の選定・詳細検討</p>	<p>実装・来年度にむけて検討</p>
<ol style="list-style-type: none"> 1. 昨年度の取組を振り返り、今年度のPTでのスコープを定める 2. モビリティステーション設置に向け、アイデアを膨らませる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 回遊性向上施策の体制、課題検討 2. 回遊性向上施策とMaaSとの連動方法の検討 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 回遊性向上施策の実現に向けた具体化（計画、体制検討） 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今年度PTの振り返りとアンケート結果の共有 2. 来年度の方針について共有 3. 来年度のPTで取り組む内容や体制について(グループワーク)

本日の目的とアジェンダ

本日の目的とアジェンダは以下の通りです

目的

1. 今年度PTの振り返りとアンケート結果の共有
2. アンケート結果等に基づき、来年度のPTで取り組む内容や体制について検討

	アジェンダ	発表者	時間 (60分)
13:30-	イントロダクション		
	本日の参加者・目的の確認	-	5分
13:35-	来年度のPTで取り組む内容や体制について		
	今年度PTの振り返りとアンケート結果の共有	事務局 (千葉市)	15分
	グループワーク		30分
	全体共有		10分

イントロダクション

本日の出席者は以下の通りです

PT参加団体名（順不同）

東日本旅客鉄道株式会社

N T T ドコモ千葉支店

シャープ株式会社

株式会社千葉ステーションビル

株式会社 幕張メッセ

公益財団法人日本サッカー協会

一般社団法人千葉県タクシー協会

イオンモール株式会社

株式会社建設技術研究所

株式会社スパサンプジ 幕張温泉 湯楽の里

ビー・トランセホールディングス株式会社

神田外語大学

公益社団法人千葉市観光協会

本日も欠席団体名（順不同）

イオンコンパス株式会社

株式会社ヴァル研究所

OpenStreet株式会社

コストコホールセールジャパン株式会社

損害保険ジャパン株式会社

三ツ矢エミタタクシーHD株式会社

イオンタウン株式会社

小田急電鉄株式会社

京成バス株式会社

株式会社 J T B コミュニケーションデザイン

長谷川工業株式会社

久留米工業大学

来年度PTで取り組む内容や体制について

次に、今年度PTの振り返りとアンケート結果の共有を行います

	アジェンダ	発表者	時間 (60分)
13:30-	イントロダクション		
	本日の参加者・目的の確認	-	5分
13:35-	来年度のPTで取り組む内容や体制について		
	今年度PTの振り返りとアンケート結果の共有	事務局 (千葉市)	15分
	グループワーク		30分
	全体共有		10分

今年度PTの振り返り

第1回、第2回PTでのアジェンダや検討内容は以下の通り

第1回PT（8月5日実施）

第2回PT（9月13日実施）

アジェンダ

1. 昨年度の取組を振り返り、今年度のPTでのスコープを定める
 - 昨年度の取り組み/検討内容の共有（回遊性向上PT、資源の最適化・共有化PTの取り組み）
 - 今年度の取り組みの方向性（来訪者の回遊性向上）の共有
 - グループワーク：移動課題の解決にむけた施策だし
2. モビリティステーション設置に向け、アイデアを膨らませる
 - モビリティステーション設置事例共有
 - 新駅開業に向けた回遊性向上への取組の経過報告
 - グループワーク：モビリティステーション設置の立地、機能面の検討

幕張新都心の移動課題に対する解決施策を検討

1. 回遊性向上施策の体制

- 昨年度と第1回で出たアイデアから6つの施策に収斂
- グループワーク：アイデアの内容の具体化、実行に向けての課題の洗い出し、解決策の検討

2. 回遊性向上施策とMaaSとの連動方法の検討

- 今年度のMaaSの取り組み案について
- グループワーク：回遊性向上施策とMaaSの連携、自社資源の活用についての検討

回遊性向上につながる施策案について、インパクトや実現可能性から整理して検討

主な検討内容

- **移動課題解決施策**
 - 移動課題：施設のスケールが大きい、適切なモビリティやパーク＆ライドの不足、混雑・渋滞の課題等
 - パーク＆ライド：駐車場・ポートの工夫、モノの移動の工夫等
 - モビリティライド：利用者へのインセンティブ制度設計、ユースケースに対応したモビリティの設置、街全体のブランディング等
- **モビリティステーション設置の検討**
 - 立地：駐車場や駅前、歩道・バス停への設置
 - 機能：認知拡大/視認性向上施策、充電スポット、休憩施設としての機能設置等

■ **回遊性向上施策実行に向けた課題**

- 対利用者：認知拡大、インセンティブ設計、安全面の設計、高齢者や子供に向けた制度設計
- 事業性：持続的なビジネスモデルの設計、費用負担
- 連携：モビリティやインフラを共有できていない、役割分担、MaaSアプリとモビリティアプリの分断
- インフラ：マイクロモビリティと歩行者の共存、防犯、規制緩和

■ **MaaSとの連携**

- 認知拡大のための施策、ルートやモビリティ横断での情報提供、リアルタイムでの情報提供、各施設との連携、既存のアカウントやポイント、決済手段との連携

今年度PTの振り返り

2回のPTを通しての検討の成果、今後の課題や要対応事項は以下の通り

これまでの検討の成果

<回遊性向上施策>

■ 施策の絞り込みと実現に向けた課題の検討

- 来訪者が訪れるイベント施設から周辺施設への回遊性向上
 - ・ 課題：インセンティブの費用負担、事業化、バス共同運営
- 日常利用している方むけに、商業施設内のスポットを連携させ、回遊性向上・パーク&ライドの推進
 - ・ 課題：役割分担、費用負担などのビジネスモデル確立
- 家族などの複数利用者向けに、大型商業施設と各商業施設を複数人が乗れるモビリティで結び、住民の回遊性向上
 - ・ 課題：子供の利用の安全面、自家用車との差別化
- 街全体でのブランディング/施設やモビリティに関する案内の充実を図ることで回遊性向上
- シニアの方向けのコンテンツも導入し、安全なモビリティで回遊性向上
 - ・ 課題：高齢者への理解促進
- ポートの設置、ゾーニングの設置による回遊性向上
 - ・ 課題：防犯や安全面、収益化、バス共同運営

<MaaS連携>

■ MaaSを連携して回遊性向上する施策の検討

- 認知拡大のための施策、ルートやモビリティ横断での情報提供、リアルタイムでの情報提供、各施設との連携、既存のアカウントやポイント、決済手段との連携

<モビリティステーション設置>

■ 設置場所、機能の検討

第3回PT取組内容 今後の課題・要対応事項

<回遊性向上施策>

■ これまでの検討を受け、実現に向けた体制づくり

- 実装に向けた協力体制構築
 - ・ 各施策の実行主体の打診
 - ・ 協力体制の構築
- 実装に向けた計画を策定
 - ・ 来年度に向けた施策の具体化
 - ・ 実行に向けたロードマップ策定

・ 第3回PTではMaaS連携を含めた「回遊性向上施策」の更なる具体化・練上げを目標に、各社が取り組みたい内容を共有
・ 併せて他の分野で取り組みたい内容も共有

<MaaS連携>

■ 回遊性向上に向けたMaaS連携の検討

- 来年度に向けた回遊性向上施策とMaaSの連携体制の構築

<モビリティステーション設置>

■ 設置場所の検討

- 新駅開業時のモビリティステーション設置への準備
 - ・ 回遊性向上の観点からモビリティステーションの具体的機能の検討
 - ・ 設置場所を検討

- ・ マイクロモビリティPTでも機能面を中心に検討
- ・ 12/15（木）にさいたま新都心での現地視察実施

今年度PTの振り返り

これまで幕張新都心エリアでの回遊性向上に向けて、以下の6つの施策案について検討してきました

	選定アイデア	想定ユーザー	モビリティ例	回遊コース例
A	来訪者が訪れるイベント施設から周辺施設への回遊性向上 (海浜幕張エリア)	<ul style="list-style-type: none"> ■若者世代（来訪者） 	<ul style="list-style-type: none"> ■オンデマンド交通 ■シェアサイクル ■循環バス 	<ul style="list-style-type: none"> ■幕張メッセ⇔イオンモール・施設
B	日常利用している方向けに、商業施設内のスポットを連携させ、回遊性向上・パーク＆ライドの推進	<ul style="list-style-type: none"> ■学生・サラリーマン ■来訪者 	<ul style="list-style-type: none"> ■シェアサイクル ■電動キックボード ■マイカー（親の送迎） ■循環バス 	<ul style="list-style-type: none"> ■学校⇔自習スペース・飲食店 ■幕張メッセ⇔商業施設・小売店・飲食店・テレワーク施設
C	家族などの複数利用者向けに、イオンモールと各商業施設を複数人が乗れるモビリティで結び、住民の回遊性向上 (幕張豊砂駅)	<ul style="list-style-type: none"> ■住民 ■子育て世代 ■3世代家族 	<ul style="list-style-type: none"> ■オンデマンド交通 ■シェアサイクル ■循環バス、循環小型バス ■小型モビリティ ■友人の車 	<ul style="list-style-type: none"> ■自宅・習い事教室 ⇔ イオンモール・飲食店・小売店 ■イオンモール⇔幕張海浜公園・湯楽の里 ■●●教室⇔湯楽の里
D	シニアの方向けのコンテンツも導入し、安全なモビリティで回遊性向上	<ul style="list-style-type: none"> ■シルバー・シニア 	<ul style="list-style-type: none"> ■タクシー ■オンデマンド交通 ■循環バス ■リンスローモビリティ 	<ul style="list-style-type: none"> ■自宅⇔病院・クリニック・飲食店 ■コミュニティ施設（公園、メッセ、モール等）⇔小売・スーパー・クリニック ■自宅⇔地域貢献活動場所・飲食店 ■コミュニティ施設⇔飲食店・小売店
E	ポートの設置、ゾーニングの設置による回遊性向上	—	<ul style="list-style-type: none"> ■各マイクロモビリティ 	<ul style="list-style-type: none"> ■パーク＆ライド ■各施設⇔駅・各施設⇔各施設
F	街全体でのブランディング/ 施設やモビリティに関する案内の充実を図ることで回遊性向上	<ul style="list-style-type: none"> ■来訪者、住民 	<ul style="list-style-type: none"> ■歩行者と共存可能な小型モビリティ（複数人乗車orパーソナル） 	<ul style="list-style-type: none"> ■バレンタイン通り⇔美浜プロムナード

今年度PTの振り返り

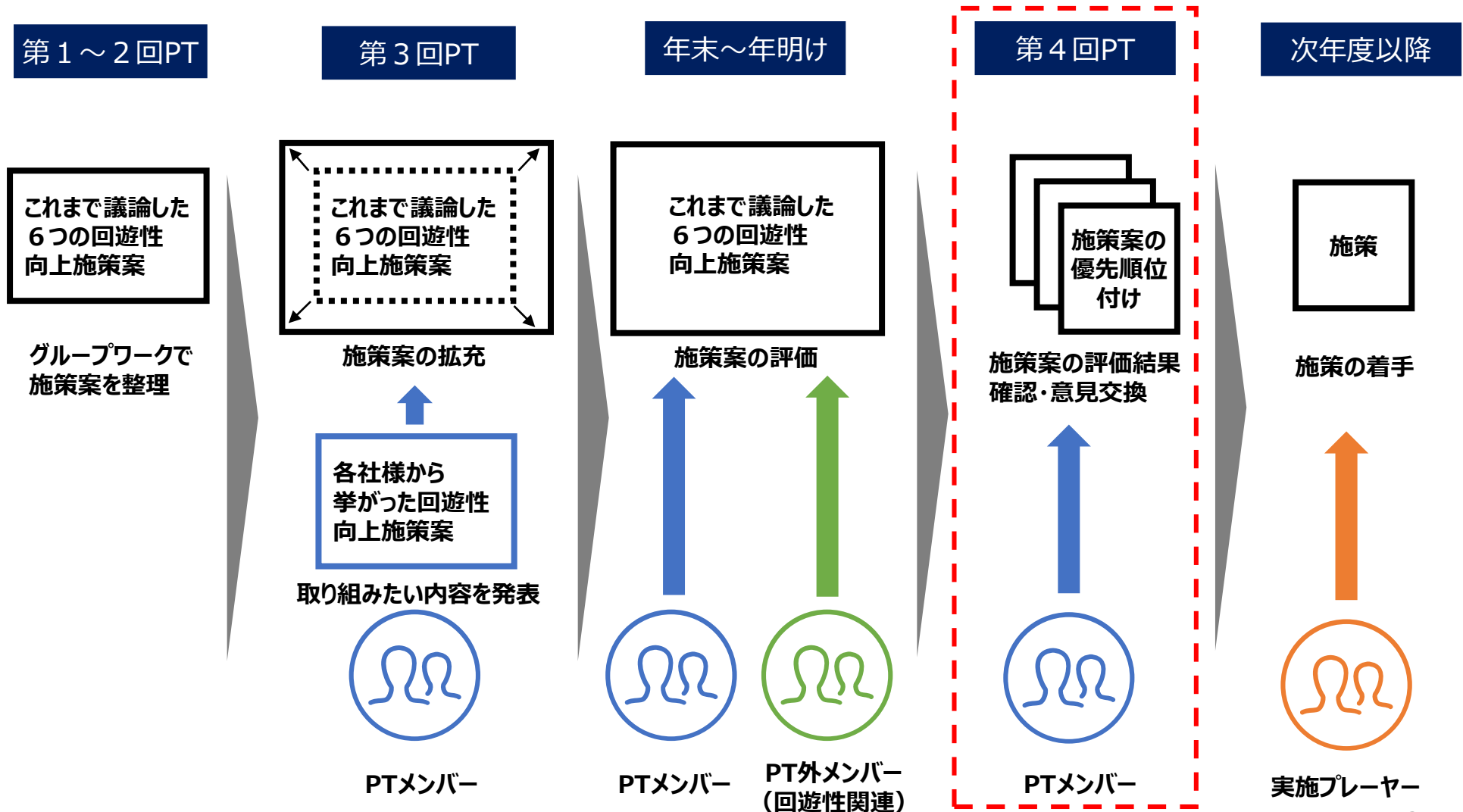
第3回PTでの各社発表内容とPT内で出た意見は以下の通り

	企業名	発表内容	PT内で出た意見
A:来訪者が訪れるイベント施設から周辺施設への回遊性向上	イオンモール株式会社	A:来訪者が訪れるイベント施設から周辺施設への回遊性向上	<ul style="list-style-type: none"> ■ MaaSアプリとスタンプラリーの連携について <ul style="list-style-type: none"> ➢ アプリが乱立するとユーザーも混乱するので、ドコモのMaaSアプリの1コンテンツとしてスタンプラリーを組み込めるといい ■ メッセ来訪者の回遊性向上について <ul style="list-style-type: none"> ➢ メッセのイベントおよび来訪者の情報提供はハードルが高い ➢ 駅前のイベントとメッセへの来訪者は必ずしも結びついていないので、そこをいかに紐づけられるかは今後の課題
	東日本旅客鉄道株式会社 千葉支社	A:来訪者が訪れるイベント施設から周辺施設への回遊性向上	
	株式会社NTTドコモ 千葉支店	A:来訪者が訪れるイベント施設から周辺施設への回遊性向上	
	株式会社千葉ステーションビル	A:来訪者が訪れるイベント施設から周辺施設への回遊性向上	
	株式会社幕張メッセ	A:来訪者が訪れるイベント施設から周辺施設への回遊性向上	
	京成バス株式会社	A:来訪者が訪れるイベント施設から周辺施設への回遊性向上	
	ビー・トランセHD株式会社	A:来訪者が訪れるイベント施設から周辺施設への回遊性向上	

	企業名	発表内容	PT内で出た意見
様々なモビリティ、MaaSアプリを利用した回遊性向上施策	コストコホールセールジャパン株式会社	C:家族などの複数利用者を想定したモビリティで各商業施設を結ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 路線バス化できないルートでの乗合バス運行について <ul style="list-style-type: none"> ➢ 乗合バスを民間主導するのは難しいため、千葉市主導で進めたい ➢ 公共性の高い乗り物には需要があり、コスト面でも現状各社が負担しているコストが集約するので利点がある ■ ビジネスマンの回遊性向上について <ul style="list-style-type: none"> ➢ 深夜帯など飲酒の可能性を考えるとキックボードではなくバスなどが良い
	シャープ株式会社	D:シニアの方向けのコンテンツも導入し、安全なモビリティで回遊性向上	
	長谷川工業株式会社	E:ポートの設置、ゾーニングの設置による回遊性の向上	
	JFA夢フィールド幕張温泉湯楽の里	その他:巡回バス等モビリティの活用による回遊性向上	
	株式会社建設技術研究所	その他:MaaS領域での貢献範囲や事例など	

モビリティ利活用PT

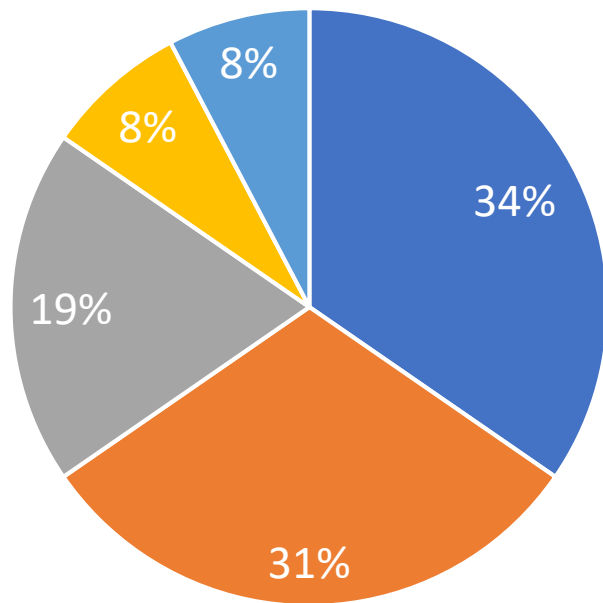
第4回PT以降の流れは以下のとおりを予定



アンケート結果概要(1/3)

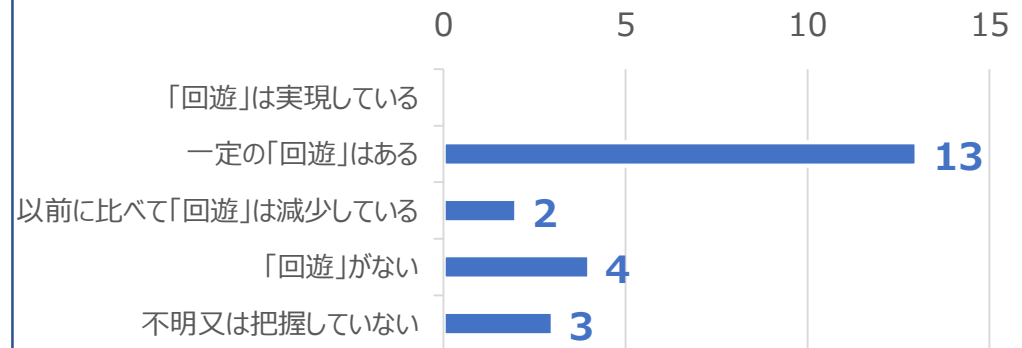
幕張新都心の「回遊性向上」に関するアンケート結果は以下の通り

幕張新都心の「回遊性向上」によって得られる効果や期待



- 自社店舗の利用者増加
- 街全体の経済活性化
- モビリティ利用の活性化
- 自社の認知度向上
- 自社店舗の利用満足度向上

現在の幕張新都心エリアの「回遊」は実現していると感じているか



■ 原因

- イベント施設と駅の単純往復になっている
- エリア内の個々の施設規模が大きく、また目的性が非常に高いなか、魅力的な回遊シーン・プランを十分に提示できていない

■ 課題

- 事業者間連携、施策実施の座組や予算

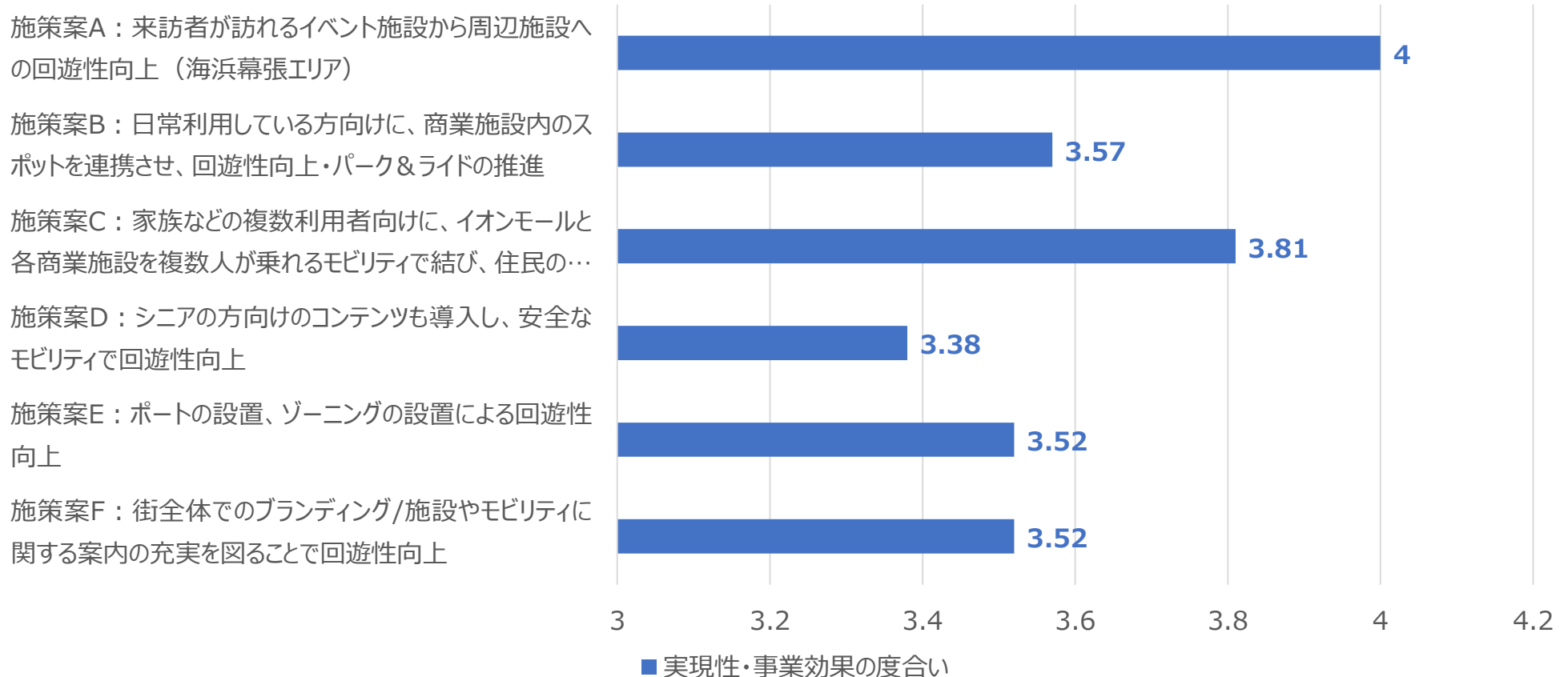
■ 解決策

- 移動手段の観光化
- 当初の来訪目的 + αの回遊プランを提案・発信する
- クーポン等の利用者インセンティブとなるような情報発信
- MaaSアプリによる利用実態計測から、街の課題を明確化した上での各企業の連携

アンケート結果概要(2/3)

施策案（A～F）の実現性、事業効果に関するアンケート結果概要は以下の通り（回答は21社）

各回答に点数（実現性・事業効果がとても高い5点～とても低い1点）をつけ、施策案ごとに算出した平均点を比較した（小数第2位を四捨五入）

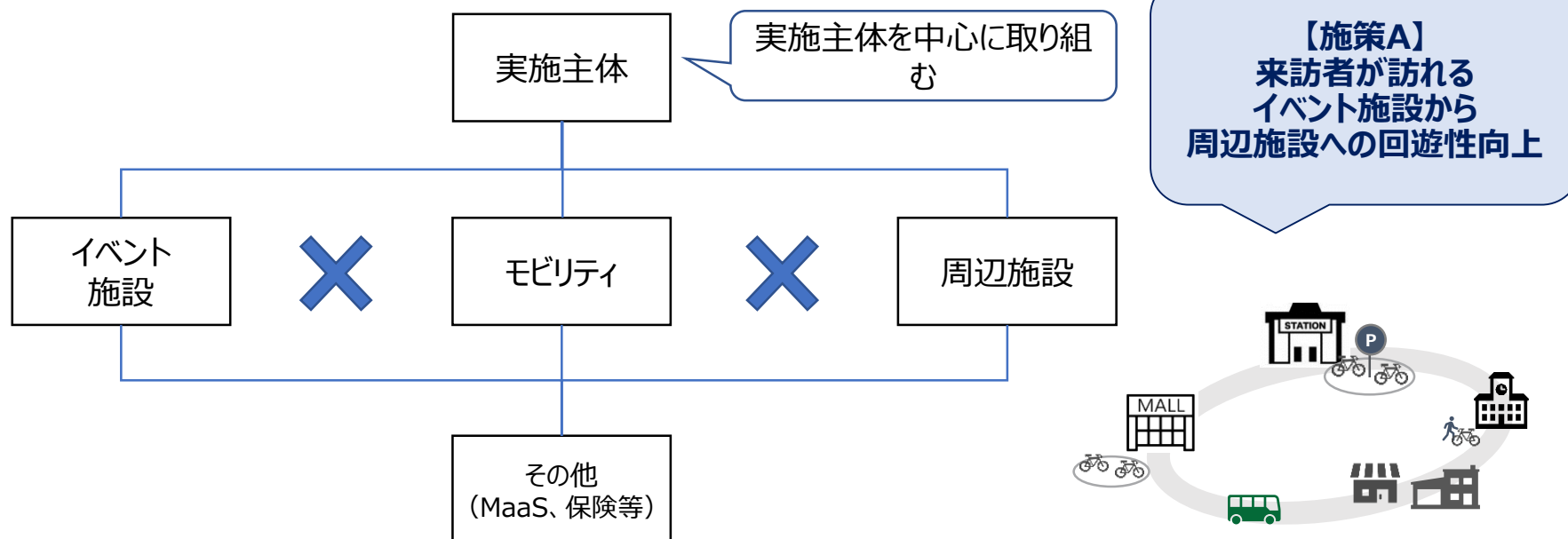


来年度取り組む施策

PTアンケートの結果、「施策A」を軸とした取組みが回遊性向上に最も有効と評価

- 来年度目標
 - 実施主体(リーダー又は共同事業体)を筆頭に、関係各社と横連携できる仕組みの構築
- 来年度体制
 - イベントでの横連携を前提として「期間限定」で体制 (PT) を構築し実験的に取組む
 - 「中長期的な体制」の構築も視野に入れる

体制図 (案)



アンケート結果概要(3/3)

PTの体制に関するアンケート結果概要は以下の通り（回答は21社）

モビリティ利活用PTの体制	回答数
①現状の体制のままがよい	6
②体制を変えた方がよい	12
その他	<ul style="list-style-type: none"> すべてのメンバーが事業者でなくてよいので、再度声をかけてもいいのではないか 千葉市様と民間事業者様の考えに基づくことが良いと思う 検討に十分な情報がないため、現状では判断できない

- 現状でも十分な議論ができており、コンソーシアム発足当初と比較して、エリア内パートナー間の連携が進んでいる
- 参加者を少数に絞り、利害関係を単純化し、スケジュールを決めて取り組むことが必要
- 各PTの課題に対する施策に重なる部分も多く出てきているので、PTの再編成を検討することが望ましい

等

コンソーシアム全体の結果

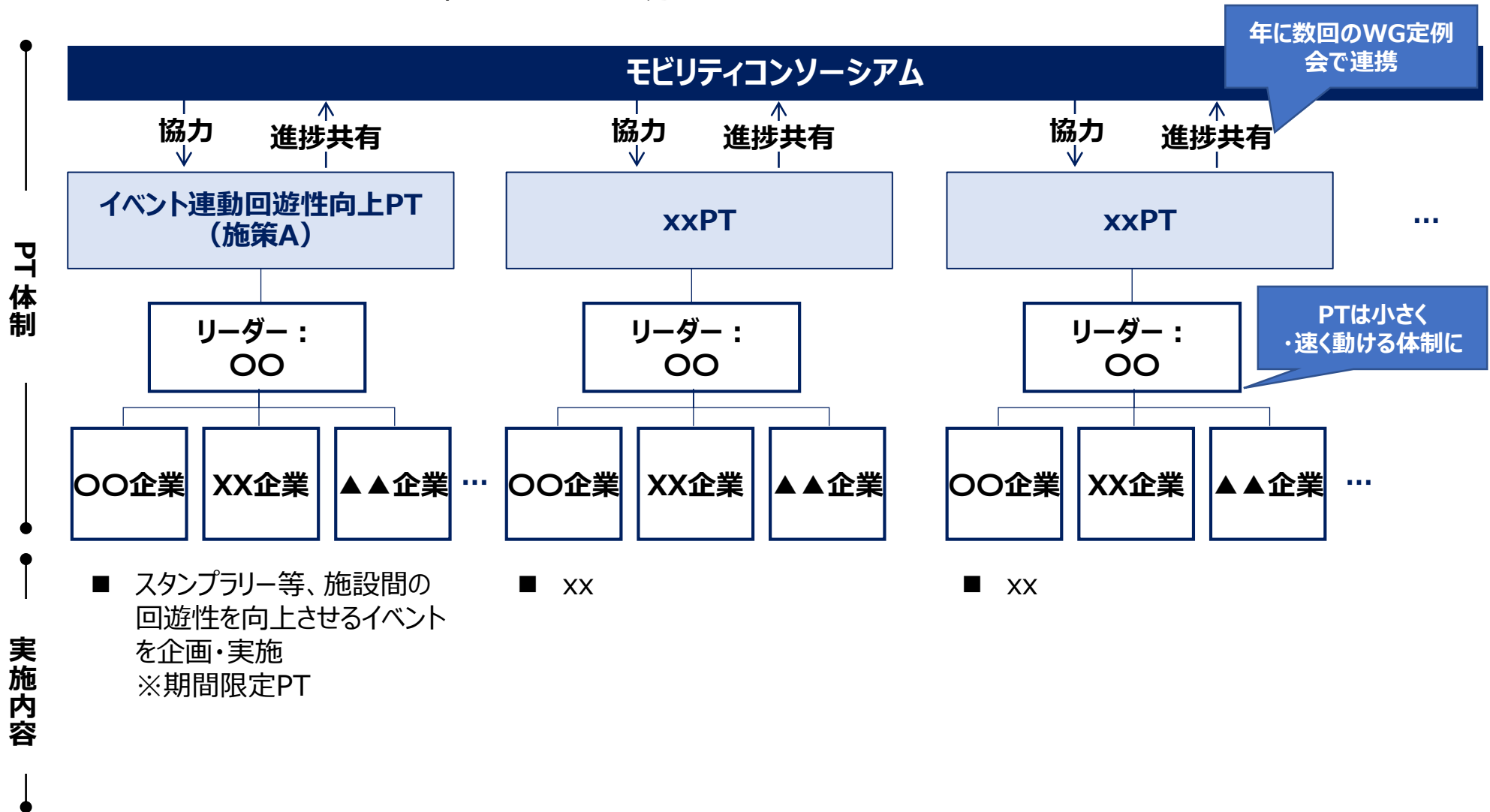
その他3PTの体制	回答数
①現状の体制のままがよい	19
②体制を変えた方がよい	31
③その他	4

- 今年度の結果を踏まえて、来年度の在り方（回数、座組等々）を見直した方がよい
- 具体的に取り組みたい目的の方と情報収集、人脈形成目的の方もいらっしゃると思いますので、目的に合った体制と構成が良い
- 来年度のMaaS実装に向け、MaaS機能拡張に関連する体制で進めていくことが望ましい

等

来年度の体制案

来年度は具体的事案に対して、実施主体（リーダー）を筆頭に、各PT2~5社程度で素早く動ける体制を実現。コンソ会員の皆様とは適宜連携。



来年度のPTで取り組む内容や体制について

次に、グループワークに移ります

	アジェンダ	発表者	時間 (60分)
13:30-	イントロダクション		
	本日の参加者・目的の確認	-	5分
13:35-	来年度のPTで取り組む内容や体制について		
	今年度PTの振り返りとアンケート結果の共有	事務局 (千葉市)	15分
	グループワーク		30分
	全体共有		10分

グループワーク

本日のグループワークの流れは以下の通り

ワークの 目的

アンケート結果や来年度の方針を踏まえ、来年度のPTで取り組むべき内容や体制について検討する

ワークの 進め方

- 質疑応答
- 来年度検討するテーマに対する意見交換
 - アンケート結果を踏まえた施策A（A:来訪者が訪れるイベント施設から周辺施設への回遊性向上）へのご意見（座組、企画内容等）
 - 取り扱いたいテーマ、立ち上げたいPTテーマ（前回発表内容等を踏まえ）
 - 参加したいPTについて
- 来年度の体制について討議
 - アンケート結果を踏まえた実施体制へのご意見（コンソの体制、協力体制、外部の巻き込みなど）

30分

来年度のPTで取り組む内容や体制について

最後に、各グループから全体共有を行います

	アジェンダ	発表者	時間 (60分)
13:30-	イントロダクション		
	本日の参加者・目的の確認	-	5分
13:35-	来年度のPTで取り組む内容や体制について		
	今年度PTの振り返りとアンケート結果の共有	事務局 (千葉市)	15分
	グループワーク		30分
	全体共有		10分

事務局よりアナウンス

アナウンス

事務局からのアナウンスは以下の通り

1. 第3回横連携WG

- 2月28日（火）15：30～16：30を予定（オンライン開催）

2. 第5回総会

- 日時：3月10日（金）14:30～15:30
- 場所：千葉市役所新庁舎（高層棟2階）

3. その他

- 2023年度コンソーシアム運営体制については、第5回総会にて決定後、正式にアナウンスさせていただきます

「学」
について

IMAGE
NOTE

令和4年度 モビリティコンソーシアム

ありがとうございました！

MAKUHARI
NEW URBAN
CENTER

以上